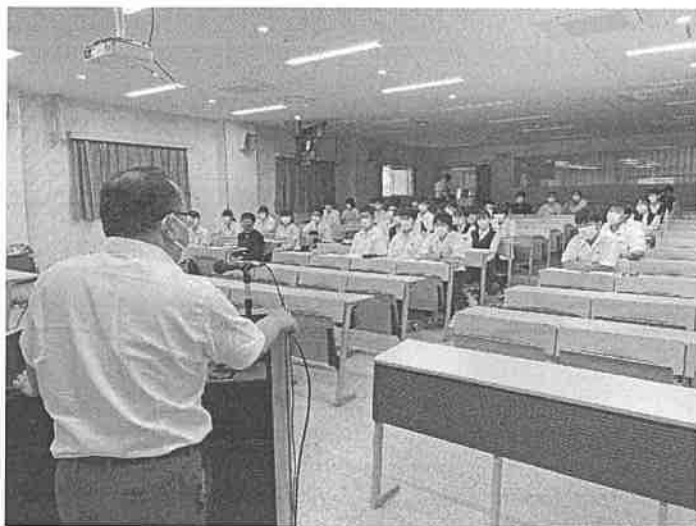


「プラネタリーヘルス・WWL基調講演会」を実施しました！

5月20日（金）7校時、高校1年生を対象とした、長崎大学経済学部山口純哉准教授による標記講演会を実施しました。視聴覚室での対面による講演（各クラス6名）とTeamsによる各教室へのオンライン配信を行いました。

講演ではまず、山口先生が取り組んでこられた諸問題、特に震災からの復興や地域創生、ボランティア活動のあり方等についてのお話がありました。課題解決のプロセスや、課題解決にあたっての姿勢についてのお話は、今後テーマを決定し探究をすすめていく生徒たちにとって、大いに参考になるものでした。また、地域社会を取り巻く潮流と長崎が抱える諸問題についてお話いただきました。人口減少・少子高齢社会、グローバル化に伴う価値観の変化、頻発する自然災害など、多くの問題を抱えていることに改めて気づかされました。さらにはポストコロナの時代に地域社会が目指すべき方向性についてのお話では、新たな視点をいただき、考えを深めることができました。

講演後には、生徒からの質問に遅い時間まで熱心にお答えいただきました。生徒からは「これからの探究活動が楽しみになった」「さらに意欲的に取り組めると思う」といった声がたくさん聞かれ、大変有意義な講演会となりました。山口先生、お忙しい中本当にありがとうございました。



生徒の感想より

・実際に社会の問題を解決されている山口先生のお話は、とても貴重で興味深いものでした。特に印象に残ったのは、同感・共感を源泉とする社会性が必要であるということです。この考え方をこれからの学校生活や探究活動で生かし、さらに考えを深めたいと思いました。

・今回の講演会を通して最も印象に残ったのは、物事を多角的に見る重要性です。例えば、大型商業施設の建設と町の関係。商業施設を経営する会社側から見れば、事業の拡大は「正解」ですが、町全体から見たときは商店街の活気を考えると、必ずしも「正解」とは言えません。今回、山口先生には主に長崎についてのお話をいただきました。そして長崎という限定された地域だけでも「正解」が交錯している状況があるとわかりました。これから始まる探究活動においても、「正解」を様々な角度から検証していきたいです。